

月刊



平成31年2月1日発行 通巻277号  
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可  
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会  
 〒520-0801  
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F  
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : [shiga-sa@mx.bw.dream.jp](mailto:shiga-sa@mx.bw.dream.jp)

湖国が滋る・水と緑の街づくり

## CONTENTS

- ・ 総務企画委員会 ..... 2  
 平成31年  
 建築関係合同年賀会が開催されました
- ・ 青年委員会  
 【事業予告】  
 青年委員会研修事業 建築と防災  
 ～そなえあればうれいなし～
- ・ 青年委員会 ..... 3  
 近畿あーきてくとVol. 26  
 ～青年層建築士の地域に根ざした活動～  
 事業報告
- ・ 青年委員会 ..... 4  
 あーきて まちあるき事業～  
 Around Shiga vol. 7 近江八幡～ 報告
- ・ 青年委員会  
 まち歩き事業【最終回】 予告  
 ～Around Shiga Vol. 8 大津～
- ・ 女性委員会 ..... 5  
 H30年度 女性委員会主催  
 全会議 開催の報告
- ・ ポリテクカレッジからのお知らせ .. 6
- ・ 地区別会員数
- ・ 2月の暦
- ・ 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて  
 第32回 近江酒造 株式会社  
 (東近江市八日市上之町)



近江酒造 株式会社 仕込み蔵

近江酒造は東近江市の八日市駅から東へ徒歩15分の1917年(大正6年)創業の酒蔵である。酒蔵と言えば同族経営が大半だが、近江酒造は当時地元の酒造家や酒販業者などの関連企業が相集い出資し時としては先駆的な株式会社方式で設立された珍しい酒造会社である。現在は市街地に立地するが当時酒造用地として相応しい土地を求めた結果であり周囲は田んぼに囲まれていたそうだ。現在は普通酒が減り、純米酒や純米吟醸酒などの特定名称酒の割合が増えている。

写真は創業時に建てられた木造蔵2棟である。以前は手前にもう一蔵あり、手前から前蔵、中蔵、奥蔵と呼ばれていた。奥蔵で日本酒の製造である仕込みの全行程を行い、中蔵で瓶詰めやラベル貼り、前蔵が製品置き場となっていた。しかしながら前蔵は1981年(昭和56年)に鉄骨造の倉庫に建て替えられている。現存する奥蔵と中蔵の2蔵は県内最大級の大きさを誇る圧倒的な大きさと、北側の路地からも見ることができる。写真中央にそびえ立つ煙突は、ボイラーの熱を逃す役割を現在も担っているといい、蔵のシンボルとなっている。

近江酒造は醸造に適した鈴鹿山脈の伏流水、地元産の豊かな酒米、寒冷な冬の気候という酒造りにおける最高のコンディションを最大限に生かすため、酒造米と仕込み水、優良酵母を吟味し、心技一体で芳醇美味な酒を醸している。また酒を通じて楽しむことのできる豊かな文化を提供できるよう、様々なジャンルのコンセプトチュアルな商品開発を繰り返している。

(前谷吉伸)

開催日：平成31年1月11日(金)

開催場所：彦根ビューホテル

参加団体：(公社) 滋賀県建築士会

(一社) 滋賀県建築士事務所協会 (幹事)

(一社) 滋賀県建築設計家協会

滋賀県建築設計監理事業協同組合

(公社) 日本建築家協会近畿支部滋賀地域会



平成31年1月11日(金)に彦根ビューホテルにて「平成31年建築関係団体合同年賀会」が開催されました。

昨年から特定行政庁(県下七市)で開催する事となり、本年は彦根市で開催をさせていただきました。来年は近江八幡市の予定です。

ご来賓を含め185名の参加者で清々しい新春を和気あいあいの中、盛大に開催されました。

【事業予告】 青年委員会研修事業  
建築と防災 ～そなえあればうれしいなし～

青年委員会では、近年、多発している地震、風水害に対して建築士の防災意識の向上と、災害に対してとるべき行動を学ぶため、体験型施設の整った兵庫県広域防災センターで研修事業を企画しています。

前半は、煙避難・屋外消火栓訓練の体験や防災備蓄倉庫の見学を行ない、後半は講師による災害時の建築士の役割や、防災士の活動などのセミナーを実施し、参加者同士でワークショップを行います。必要性が高まっている防災知識を、今学んでみませんか？

日 時：平成31年3月16日(土)

10:00~16:00

研修場所：兵庫県広域防災センター

兵庫県三木市市染町御坂1-19

参加費：1,000円

定 員：20名予定(先着順)

その他：各自、現地集合・解散とさせていただきます。

参 考：山陽自動車道三木東インターより車で5分

(施設内に大型無料駐車場あり)



兵庫県広域防災センター(上空より)

## 近畿あーきてくとVol. 26 ～青年層建築士の地域に根ざした活動～ 事業報告

平成6年度より開催している地域実践活動発表会も今回で26回目を迎えました。過去、様々なテーマで発表してまいりましたが、平成30年度は、地域と建築士の関わりや役目をもう一度考え、青年層建築士が地域にどのように関わっているのかを学ぶことにより、資質の向上を目指すとともに、より地域に貢献することができるように「近畿で活躍する建築士」というテーマで各府県発表をいたしました。

昨年につづき、平成31年9月に開催される第62回建築士会全国大会北海道大会（函館市）の青年委員会セッションである地域実践活動発表会の予選を兼ねており、各府県からは選りすぐりの素晴らしい活動事例が発表されました。

滋賀県からは、青年委員会副委員長の川村晃久さん（湖東）が「木育玩具 木のジャングルジム」を発表いたしました。近くの木を使い、人の技でジャングルジムを作ります。家をつくる楽しさから「人と人が手を組んで、きちんと安全に作ること」の大切さを伝える発表でした。

また、成安造形大学（大津市）の学生に「アート作品とともに暮らす豊かな学生生活を実現するアパートメントでの活動」を、京都女子大学（京都府）の学生に「京都市六原学区における空き家対策活動」の発表もしていただきました。

最優秀賞は京都府の「Kyoto Archi Rally (KAR)」が選ばれ、滋賀県は惜しくも8票差で2位でした。しかし、私たちにとっては参考になる事業や今後のヒントを見つけるいい機会になりました。来年度は全国大会で発表できるよう青年委員会一丸となって頑張ります。ご参加いただきました皆様本当にありがとうございました。

青年委員会 山崎 龍太（近畿建築士会協議会青年部会運営委員）



発表を聞く会場



滋賀県を代表して発表を行う川村さん



協賛企業さまのPRタイム



感謝状を受け取る滋賀代表川村さん



近畿あーきてくと来場者の集合写真

あーき塾 まちあるき事業  
 ~Around Shiga vol.7 近江八幡~ 報告



12月15日(土)、あーき塾まちあるき事業~Around Shiga vol.7 近江八幡~を開催しました。当日の午前まで天候がすぐれませんでした。集合と同時に雨も上がり、近江商人が築いた街並みとヴォーリズ建築を見学することができました。地元に住んでいても中々訪れる機会のない左義長祭りの資料の見学もでき、地域の歴史を感じることができ充実した事業となりました。

近江八幡市八幡堀周辺の町並みは、重要伝統的建造物群保存地区に選定されており昔ながらの風情が感じられます。市立資料館には、近江商人の商売道具や地域の伝統的な祭りの資料、朝鮮使節団の資料が数多くありその歴史を学びました。和の文化が色濃く残る近江八幡のまちなかには洋風建築も数多くあり、それらの建築設計を手掛けたヴォーリズの建築物を中心に散策しました。アンドリュース記念館、旧八幡郵便局、ハイド記念館、教育会館、ヴォーリズ記念館をまとめて見学できました。また終盤には、かわらミュージアムと八幡堀にも立ち寄り自然と一体化した施設の見学を行い、充実した内容となりました。いよいよ次回3/23(土)は、2年間をかけて歩いてきたAround Shigaシリーズは最終回を迎えます。皆さまのご参加をお待ちしております。

青年委員会 中川祐樹



森五郎兵衛邸前で説明を受ける参加者



旧伴家住宅を背景に集合写真

予告



青年委員会

まち歩き事業【最終回】  
 ~Around Shiga vol.8 大津~



青年委員会では、平成29、30年度の2年間にわたり滋賀県内8地域でまち歩き事業を開催してきました。そして最終の8回目を平成31年3月23日(土)午後から大津で開催します。

大津のまち歩きは、JR大津駅に集合して大津百町を歩き、大津の歴史に触れ学びます。最後にふさわしいまち歩きとなるように現在準備を進めています。詳細・募集案内は月刊「家」3月号に掲載予定となっております。皆様のご参加お待ちしております。

## H30年度 女性委員会主催 全員会議 開催の報告

平成30年12月15日(土)、明日都浜大津にて、H30年度 女性委員会主催 全員会議を開催致しました。山本会長、大津地域会森川地区代表の両名にもご臨席を賜り、ご祝辞、ご挨拶を頂戴いたしました。

前年度と同様に、会議を2部構成としました。第1部では、H29年度～H30年度事業報告を行い、次年度事業・次年度委員会運営について話し合いました。

第2部は、フリートークタイムとし、参加者が車座になって自由に意見を交換し合う場としました。昨年に続き、女性会員65名全員に、この全員会議の開催案内を送付し、返信ハガキで出欠のお返事を頂くという形をとりました。その返信率や、欠席理由などを基に、女性委員会の活動における課題や展望について闊達な意見を出し合いました。

山本会長、森川代表にもご参加頂いたことで、建築士会に求められる活動や社会貢献について、会員増強における地域会の重要性と連携など、深い話し合いが出来ました。

H2年創立の滋賀県建築士会女性委員会は、まもなく30周年を迎えます。順々にバトンを受け取り、想いを繋いできました。これからも、女性建築士の資質の向上、地域社会と連携し発信する活動を実施して参ります。まずはご参加いただき、そして、魅力ある女性委員会となるように一緒に活動していきましょう。



第1部 来賓のご挨拶



第2部 フリートークタイム

## 情報広報委員会からのお知らせ

情報広報委員会 「会員の声」を募集しています。

会員の皆さんの活動報告、取り組みなどございましたら、2019 機関誌 家に掲載させて頂く予定です。  
2019年2月28日までに、公益社団法人滋賀県建築士会事務局までご連絡ください。

# 滋賀職能大からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施予定日※
CH011	木造住宅の基本計画技術 New	¥8,000	10	6/5(水)、6/12(水)
CH021	住宅基礎の構造設計実践技術 New	¥9,500	10	5/11(土)、5/18(土)
CH031	在来木造住宅設計実践技術<意匠設計編> New	¥8,500	10	8/31(土)、9/7(土)
CH041	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法	¥7,500	10	7/23(水)、7/24(水)
CH051	実践建築設計2次元CAD技術<フリーウェア編>(使用ソフト=JW_CAD)	¥7,000	10	9/4(水)、9/11(水)
CH061	実践建築設計2次元CAD技術(使用ソフト=AutoCAD)	¥9,000	10	6/18(水)、6/19(水)
CH071	実践建築設計3次元CAD技術<住宅間取活用プレゼン編> New	¥9,500	10	6/29(土)、7/6(土)
CH081	実践建築設計3次元CAD技術<BIM活用モデリング編>	¥10,500	10	7/23(水)、7/24(水)
CH091	ネットワーク工程管理実践技術	¥8,000	10	5/21(水)、5/22(水)

講座内容等については、「滋賀職能大」で検索、「在職者・事業主の皆様へ」からご確認ください。下記QRコードもご活用ください。



各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。  
お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。  
お早めにお申し込み下さい。

## 「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

## 「卒業制作発表会」開催 平成31年2月15日(金) 9:30~

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
(厚生労働省所管) 近畿職業能力開発大学校附属  
**滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)**  
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414  
学務援助課 TEL: 0748-31-2254  
FAX: 0748-31-2255

地区別 会員数 平成31年 1月1日現在	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計
	12月	203	149	81	111	88	132	65	25	854
	1月	203	149	81	111	88	132	65	25	854
	差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2月の暦

1	金	友引		10	日	赤口		19	火	先負	
2	土	先負	子ども立体作品展 建築士フェスティバル	11	月	先勝	建国記念の日	20	水	仏滅	
				12	火	友引		21	木	大安	
3	日	仏滅	子ども立体作品展	13	水	先負		22	金	赤口	
4	月	大安		14	木	仏滅	四役会・理事会 情報広報委員会	23	土	先勝	
5	火	先勝						24	日	友引	
6	水	友引		15	金	大安		25	月	先負	
7	木	先負	地域貢献活動センター委員会	16	土	赤口		26	火	仏滅	
8	金	仏滅		17	日	先勝	ヘリテージ上級講座	27	水	大安	
9	土	大安	女性委員会 DoシリーズNo.79	18	月	友引		28	木	赤口	

## 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第32回 近江酒造 株式会社(東近江市八日市上之町)

真は、創業時に建てられた木造蔵2棟で、2階建ての事務所(左)と平屋の精米蔵(右奥)である。現在コンピュータによる機械精米が主流となり、コストがかかり過ぎることから大半の蔵が外部の精米会社に委託精米を行なっているが、近江酒造では長く精米機が未使用であったものを今季の造りから再稼働させた。全量酒米山田錦の自社精米は米の質や精米歩合によって細かい調整がきく利点があり、今から今季のお酒が楽しみである。

代表銘柄 「志賀盛」「近江龍門」「近江ネコ正宗」

(前谷吉伸)

